

ふたでん

11

立川と語ろう 立川に生きよう
November 2007
écoutez bien Vol.26 No.276



表紙の人／宮澤友子(柴崎町) 写真／細江英公

アカデミック立川 “国語研”

写真：五来孝平

ここがタチカワ！
ここも立川！ ④

独立行政法人 (緑町) 国立国語研究所

多摩モノレール高松駅からよく見えるガラス張りの建物。それが国立国語研究所だ。通称「国語研」。周囲には自治大学や新しく建築中の研究施設が建ち並び、洗練された新しい街ができつつある。ひととき目を惹く建物は、京都国立近代美術館や幕張メッセなどを手がけた(株)横総合計画事務所によるもの。正面芝生の庭に並んだ青木野江さんの鉄のアート作品が、エントランスへといざなってくれる。職員、研究員など常時100人以上の人がいるという。ガラス張りなのに外からはほとんど人の姿が見えないのが不思議。

昭和23年に発足。国語に関する総合的研究機関として、地味だが着実に研究活動を進めてきている。立川へは平成17年2月に移転してきた。国民の言語生活の向上及び外国人に対する日本語教育の充実へ貢献することが任務。具体的には、言語データベースの構築や方言など言語生活の調査研究、「外来語」言い換え提案など言語問題の解明と解決に向けての提案、外国人のための日本語教育情報資料の作成や提供……。情報や資料はかなり公開されていて、たとえばホームページや広報誌「国語研の窓」はとても勉強になる。「ことば」フォーラム、公開研究発表会、国際シンポジウムなど市民が参加できるイベントもあり。日本語のことならなんでもOK!の国語研。もしわからないことがあったら、電話質問してみよう。全国で唯一の、日本語に関する専門図書館。館外貸出ししていないが、誰でも閲覧可能なのがいい。

国語研の建物の周りには柵も塀もない。自由に散策することができる。日本に一つしかない、言葉の専門家が集っている場所。ただ通り過ぎているともったいない。

いちばん好きな植物のことで



みどり文化士
緑花文化士

白井 治子さん

■白井 治子(うすい・はるこ)／青梅市生まれ。幼い頃から植物に親しみ、結婚して昭島市で主婦生活。長男の障害をきっかけに障害者の社会参加に取り組み、旧昭島市役所跡にできた昭島市保健福祉センターの喫茶店「ふらっと」運営にあたる一方、「緑・花文化の知識認定試験」を第一回から受験。特級を三回とった人が認定される「緑花文化士」に。国営昭和記念公園で開かれる「緑・花文化を楽しむ講習会」講師などとして活躍している。

■芳賀 敏博(はが・としひろ)／えくてびあん編集長

於：昭島市 福祉喫茶ふらっと 写真：五来孝平

白井 今日いらっしゃるというので、こんなものを持って来ました。まだ青いうちに採ったマタタビの実の塩漬。食べてみてください。ちょっと辛みがありますけど焼酎に最高に合うんですよ。
芳賀 爽やかな香りもあって、いけますね。こういうものをいつも作られるんですか？
白井 ええ。ジャムとかハーブティーとかいろいろ。果実酒類は30~40種くらいあるかな。ですから家はそこらじゅう瓶詰めがいっぱいなんです(笑)。自分でも楽しめますけど、人に差しあげるのが好きなので、作ってはあげ、作ってはあげ……。
芳賀 そういう素地があるから、花や

草木についての総合的な知識を深める「緑・花文化の知識認定試験」を受けられたんですね。
白井 植物好きは父の影響がいちばんですね。父は青梅で長く教員をしていたんですが、小さい頃からよく一緒に連れられて山を歩きました。それもちゃんとした道ではなく、たいいていヤブこぎ。大きな胴乱を肩から下げて……。
芳賀 本格的！ すじ金入りの植物少女じゃないですか。
白井 植物採集だけじゃなく、いつもプラスアルファのおまけがあって、それが楽しみなんです。春なら山菜採り、秋だったらアケビの実やサルナシを採ったり、ユリの根を掘ったり。いま掘ったら

怒られるでしょうけど、昔はヤマユリがそこらじゅうにありましたから。胴乱いっぱいユリ根を持って帰り、きれいに洗ってお砂糖と一緒に煮ると、すごくおいしいきんとんができるんです。お正月もユリ根のきんとん。懐かしいな。あれは最高でしたね。
芳賀 植物やそこから広がる楽しさというのは、その頃から身につけている(笑)。
白井 高校は山岳部で山登りばかり。大学も生物学系だったんですが、卒業してからは母が始めた幼稚園を手伝ってそのまま結婚したものですから、植物について専門的に何かするという機会もありませんでした。しろうとに毛の生えたような主婦です。でも植物は、ずっと自分がいちばん好きなことだったんです。
芳賀 「緑・花文化の知識認定試験」を受けるきっかけは？
白井 1999年の第1回試験のとき、娘が学校で申込用紙をもらってきたんです。最初ということで昭島と立川の全小中学校に配ったらいいんですが、それを見て受けたい！と思いました。このときは、たしか1万5000人以上の人が受験したんですが、なぜか特級に入ったんです。そのとき特級は158人だったと記憶しています。全体の1%です。それがすごくうれしかった。自分のような主婦がどれだけできるんだらうって思っていたから。それに試験問題と、試験の後にもらう解説書が素晴らしいです。古今東西の植物に関係するあらゆる知識が盛り込まれていて、読むだけで楽しい。楽しくて、楽しくて、それ以来毎回試験を受け続けています。
芳賀 「緑花文化士」に認定されたら、それで終わりではないわけですね。

白井 2回目の試験は特級を逃して、やっぱり難しいなと。2003年に3回目の特級になり緑花文化士の認定をいただきましたけど、資格として仕事につながるわけではない何か特典があるわけでもないんです(笑)。自分の楽しみとしてその後も試験を受け続けていたら、試験を実施している財団法人公園緑地管理財団というところから、一般の人を対象にした講習会に協力できますかというアンケートが来まして、それに賛同した緑花文化士の人たちと一緒に、昨年国営昭和記念公園で定期的に開く講習会をお手伝いしています。「ハーブを楽しむ」など自分が講師をするだけでなく、他の方が担当する講座も手伝ったり。
芳賀 白井さんのように、せっかく豊富な知識を持った植物好きがいるのを放っておくのはもったいないですから(笑)。
白井 毎年20人~30人の緑花文化士が認定されて数も増えてきたので、何か世の中に役立たせようという考えもあったんでしょうね。昭和記念公園では約10名の緑花文化士が活動しているんですが、なかにはカルチャー教室などで教えていらっしゃる方もいますし、大学などで教えている専門家もいらっしゃいます。それぞれが分担して講師をするんですが、講座の下準備で皆さんと一緒に公園のなかを歩いていると、私なんかは知らないことがいっぱいあって勉強になりますし、楽しいんです。
芳賀 あれだけの広い敷地にいろんな草木があるという空間も、貴重ですよな。
白井 私が小さい頃は米軍基地でしたが、それが信じられないように自然豊かな公園になりましたよね。うちには子どもが

3人いて長男は障害があるんですが、小さい頃からできるだけいろんな経験をさせてやろうと、公園ができてからは子どもたちを連れてよく行きました。今でもちょっと自然に触れたいなと思うとひとりで。雨の日は人が少なく穴場なんです。特に好きなのは、昭島側のまだ整備されていない一画にたくさんある桜。鳥が糞と一緒に運んで来た種から生えたオオシマザクラ系の桜で、ソメイヨシノと違って濃いピンクから白、緑がかった花まで……春はそれはそれは素敵ですよ。玉川上水口近くの三本の煙突にツルウメモドキが見事にからまっていたり。
芳賀 この「ふらっと」も障害者の社会参加のための喫茶店ですし、そういう活動をしながら緑と花の文化に関わるって素敵だな。
白井 つらいこともありましたけど、あるとき「私は余りに未完成だからいろんなことを体験させてもらってるんだ」って思ったら、ありがたいなと。夫とは高校時代の山岳部仲間なんですが、嫁いだら4世代同居の古い家で正月なんかは40人~50人集まる。うわあ大変だと思いましたが、そのうち私ってこういうことが案外好きなのかなと。植物はとにかく好きな個人的楽しみなんですけど、それを通じて出会いもあり広がりができました。この歳になって、全部ひっくるめてこれが自分の道かなと思えるようになりましたね。



| | |
|------------------|---------------------------|
| 和菓子処 花奴万葉庵 工場売店 | 高松町 1-22-8 0120-398785 |
| 多摩画材 (景品交換所) | 高松町 2-1-25 522-6031 |
| 丸助青果店 | 高松町 2-4-18 522-3542 |
| 米穀・食料品 横町屋 | 高松町 2-11-23 522-2609 |
| ふじ整体院 | 高松町 2-25-2-2F 540-9155 |
| ライブハウス Crazy JAM | 高松町 2-26-3-B1 529-9507 |
| 炭火煎珈琲 はるもにあ | 高松町 3-8-3 521-2959 |
| 書籍・雑誌 フレンド書房 | 高松町 3-18-2 527-1555 |
| サロン・ケベクア美容室 | 高松町 3-21-12 527-4716 |
| HAIR MAKES たしろ | 高松町 3-26-16 525-2175 |
| ふとんの 青木寝商 | 若葉町 1-8-1 536-6833 |
| シルバーレストラン サラ | 若葉町 1-10-1 534-0602 |
| Beauty Salon リラ | 若葉町 1-11-1 536-3048 |
| 浅見内科医院 | 若葉町 1-11-20 537-0918 |
| 生鮮館 和光 立川店 | 若葉町 1-13-2 538-3121 |
| いなげや 立川若葉町店 | 若葉町 3-21-1 537-4119 |
| パティスリー プルミエール | 西砂町 1-36-11 531-4835 |
| 有限会社 東京きのこ社 | 西砂町 2-32-2 531-5625 |
| パン工房 ゼルコバ | 西砂町 5-6-2 531-2392 |
| CHINESE DINER 陶桃 | 一番町 4-57-1 531-3100 |

えくてびあんの輪
立川と語ろう 立川に生きよう
えくてびあんは
リストのお店にいつもあります

今月は 高松町・若葉町・西砂町・一番町・上砂町・栄町・幸町のお店です。

| | |
|---------------------|------------------------|
| フレッシュグリーン 八百賢 | 一番町 6-17-9 531-5164 |
| fresh shop スーパーはしもと | 上砂町 3-2-1 536-2331 |
| 多摩信用金庫 栄町支店 | 栄町 2-59-8 536-9711 |
| いなげや 立川栄町店 | 栄町 3-7-1 523-7201 |
| ニュースサービス日経 立川中央 | 栄町 4-8-12 522-4507 |
| チーズ王国 本社 | 栄町 4-16-1 525-9800 |
| 手打ちそば 信更 | 栄町 5-12-1 537-0991 |
| FUKUSHIMAYA 立川店 | 栄町 5-36-1 534-1700 |
| 相模屋 酒店 | 栄町 5-61-8 536-2476 |
| メンズカット ヤザワ | 栄町 5-61-31 536-8738 |
| 森田接骨院 | 栄町 6-6-25 535-6240 |
| 立川農産物直売所 | 幸町 1-14-1 536-2439 |
| いなげや 立川幸店 | 幸町 1-23-6 537-1820 |
| 多摩信用金庫 幸町支店 | 幸町 1-25-15 535-5311 |
| 中華レストラン SANFUJI | 幸町 2-3-5 536-3813 |
| 西武信用金庫 幸町支店 | 幸町 2-11-34 537-3101 |
| 大黒屋 | 幸町 2-47-8 536-0851 |
| お菓子処 花奴万葉庵 すずかけ通り店 | 幸町 3-17-3 536-8785 |
| 江戸前・富山の魚と酒 緑寿司 | 幸町 3-28-24 536-4800 |
| 至誠キートスホーム | 幸町 4-14-1 538-2323 |

パンをパクパク ここは〈BAKUBAKU〉

〈この人この店〉番外編

みんなが楽しい! Bakery & Café

柴崎町3丁目、
立川高校近くにてできたオープンテラスのあるベーカリー。
秋のさわやかな風を感じながら、焼き立てパンをほおぼる。
作る方も楽しく、食べる方もおいしい。みんなが憩う街のカフェ。

写真：五来孝平



主任の吉村治朗さん

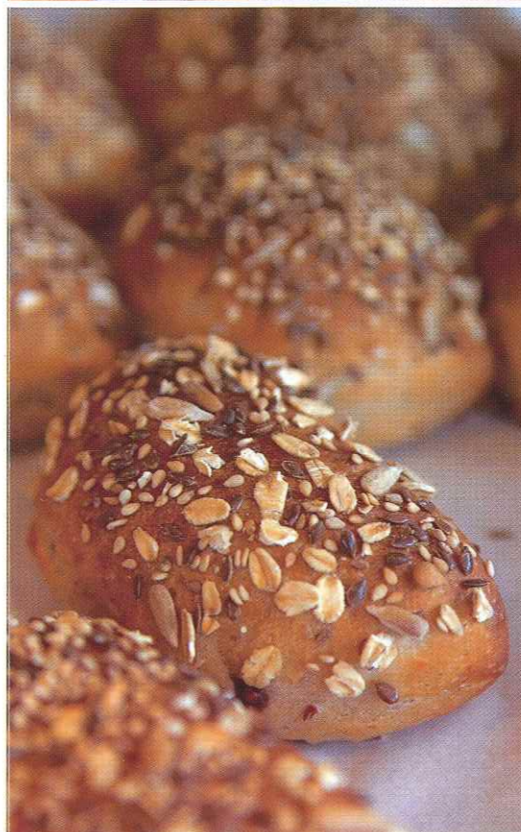


朝8時。店内に焼き立てパンが次々と並べられる。主任の吉村治朗さんがデジカメを持って工房からやってくる。棚に置かれたパンの写真を撮る。「新製品は写真を撮っておかないと忘れちゃうから」。新製品は日替わりで毎日10種類以上登場する。飽きのこない店づくりの一環だ。「ベーカリーであることにこだわっています。窯から出したパンを今食べてもらいたい。売り切れたらそれでおしまいなんです」と吉村さん。今日は何が焼き上がってるのかな？ そう考えるのも楽しい。

店にはいつもお客さまがいて、並んだパンはすぐに売れてしまう。ひとりが1回に買う量が多い。それもそのはず、BAKUBAKUのパンは全部ひとつ120円。使用する卵や塩にこだわってもこの値段だから、人気は高い。お店の方にとっても、お客様が値段で選ばないで好みで選んでくれるから売れ筋もわかりやすい。高校生も次から次へとやってくる。カフェコーナーの隅っこに見慣れないものが……。 「FLAVIA」といって、専用のサーバーがひとつあれば、いろいろなドリンクがすぐにおいしくできちゃう一杯取りシステムです。試しにいただいたアールグレイ、本当に香り高い。ドリンクの種類も豊富で、選ぶのが楽しい。

こだわるところはこだわるが、合理化できるところは合理化してしまう。BAKUBAKUは立川福祉作業所が開いたお店。作業所の利用者を就労支援しながら、利益を上げる本物のベーカリーとして自立したい。利用者は工房でパンの作り方や社会との関わり、責任を学ぶ。

深まる秋。和栗をあしらったパンや、ピーシチュー、カニクリームパンなど、ごちそうが出そろってくる。「これからはカフェとして、デザート系もそろえていきたいですね」——吉村さんも楽しそう。



これが「FLAVIA」

立川と多摩地域が
もっと楽しいホームページ

**多摩てばこ
ネット**

http://www.tamabako-net.ne.jp/

多摩てばこネット編集工房
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F
tel 042-548-9606 fax 042-548-9609
e-mail message@tamabako-net.ne.jp

常楽我浄
真如苑提供番組くじょうくじょう

スカパーフェクトTV 216ch
マイテレビ 11ch

放送時間については番組表をご確認ください。

立川に育てられて七十一周年
真如苑
柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111(代)

ValueUp

**「お客さまの声」は、
たましんの力。**

たましんは、お客さまとともに価値を
創造し、夢を実現してまいります。

たましんホームページ <http://www.tamashin.jp>
たましんにご相談ください。78店舗の窓口や約500名のお客さま
担当が、お客さまの声にお応えいたします。

多摩信用金庫

大廣社は今、「知的集約」型企業を実践しています。

伝達を使命とする情報産業の一翼を担う大廣社は、
新しい時代の新しい表現を責任持って拓くために、
クリエイティブから最終製品にいたるまでの一貫体制を
構築しています。

先進のシステムと
最新技術との融合

〒190-0022 東京都立川市曙町5-17-13
tel. 042-527-1911
fax. 042-527-1349
E-mail info@daikousya.jp
<http://www.daikousya.jp/index.html>

株式会社
大廣社

えくてびあん流

「六ヶ所村ラブソディー」上映会
11月11日(日) アイムホールで

今年7月に起きた中越
沖地震で柏崎刈羽原子力
発電所が被害を受け、原
子力の安全性やエネルギ
ーの安定供給が改めて問
われているが、原発で使
った核燃料からプルトニ
ウムを取り出す核燃料再
処理工場のある青森県六
ヶ所村を撮影した、鎌仲
ひとみ監督の長編ドキュ
メンタリー映画「六ヶ所村
ラブソディー」の上映会が
11月11日(日)、立川市女性



人々などの日々の暮らし
を淡々と追いながら、そ
れぞれの選択を見つめ
る。40年以上操業を続け
る。2005年に事故を起こした
英国セラフィールド再処理
工場周辺の取材も含め、
原子力とひとりひとりの
関わりを考えさせる。

上映会の主催は、管理
職・専門職に就いている
女性たちの世界的組織、
国際ソロプチミスト立川。
午前10時～12時、午後4
時～6時の2回の映画上映のほか、午後1時
～3時に国際環境保護団体グリーンピースで
核問題リサーチャーなどをつとめる鈴木真奈
美さんの講演を予定している。映画、講演
とも入場無料。

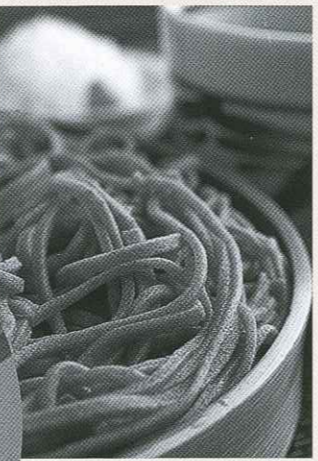
総合センター・アイム1Fホールで開かれる。
この映画は、国策として進められる再処
理工場に対して普通の人々がどう向き合っ
たかを、反対する六ヶ所村や周辺の農家、
核燃施設に雇用の場や経済効果を求める

この人この店 ②

そば処
かめ井

亀井 武重さん

お店に入った時、「ああ、かめ井
さんだ！」と思うお店です。なに
よりも空気がきれい。やわらかな
おだしの香りがふんわりと漂うだ
けで、油のおいが一切しない。
それは天ぷらを揚げないから。「花
を飾るときも、香りの強い花は避
けてます」と亀井さん。なによ
りもそばの風味を大事にします。
山梨県は小菅村のご出身。幼い頃から慣れ親しんだ味を立
川で、とサラリーマンを辞めお店を構えてもう9年。常連さん
が小菅そばをめあてにやってきます。「よくそばは噛まな
いって言うでしょう？小菅のそばは噛むと甘みが出てくる
んです」—ホント！噛んで食べるおそばですね！おそばの
風味も増してきます。そろそろ新そばの季節ですが……「小
菅は多摩川の源流で谷あいにある村なんです。だから空が
狭くって日照時間が少ない。新そばも他より遅くて11月の
末なら確かな」。それなら年越しそばはバッチリですね！



〒190-0021
立川市羽衣町3-2-17
TEL 042-524-8101
営業時間 11:30～14:30
17:30～20:00
定休日 毎週月曜日と第2火曜日



写真撮影：五来孝平



挿画：綾 幸子

立川の
お作法
中野 豪清
第4回

訪問

もう幾十年になるだろうか。娘が小学
生の頃、PTAの集まりに必ず10分前
に来る人がいた。他の会合や催しでも10
分前に来ている。私はいつも時間ぎりぎ
りに息せき切って来たり、30分前
に来て時間を持って余していたものだから、あ
るときどうして10分前に来ることができ
るのですかと聞いた。イヤ、早く来て
いるんですよ。場所を確認してから周辺
の路地をぶらついているのです。花がさ
れいに植えられている家を見れば、この
家の人は心の優しい人なんだなと思
うし、植木が刈り込まれて手入れの行き届
いた屋敷に会えば、先祖から受け継が
れて来たんだろうな、どんな人が住んで
いるのだろうかと思う。赤ちゃんの泣き
声、子どもの騒ぐ声、その街の生活に触
れられて楽しいものですよ、と言われた。
以来、私は10分前、10分前と心に言
い聞かせながら会合等に出席している。
訪問。人の家を訪ねるといことは、
多くの場合相手を拘束することになる
し、また迎える方はそれなりの準備を
している。時間厳守こそ第一の礼儀では
ないだろうか。明日お伺いいたしますと
言われ、多分10時頃にお出でになるの
ではないかと待っていたら、来られない。
11時頃かな～と待つ。来ない。昼食事を
避けて、13時頃かな～と思って待つ。来
ない。15時、16時夕方になって漸くお
出でになった、ということがあった。訪
問の約束は「明日」ではなく、「明日の
何時頃」という時間単位の約束でなけれ
ばならないと思う。
訪問には、いくつか注意しなければな

らない事柄がある。まずは訪問の目的。
相手のための訪問か、頼み事の訪問か。
慶賀、不幸、見舞い、謝礼、用向き、年
始、中元、歳暮など。目的をはっきりさ
せて、特別親しい人以外には突然訪問す
るのではなく予報するのが望ましい。た
だし電報での予報は相手は驚くのでしな
い。用件のわからない予約もしない。
訪問の日と時刻にも礼儀がある。祝事
は午前中に。不幸の通知や不慮の災禍は、
速刻に。早朝、深夜、昼食時、夕食時の
時間は避ける。
訪問の際の服装だが、平素の訪問の場
合は質素清潔が基本。髪、襟元、爪、履
物の汚れに気をつける。男性はズボンの
折り目に気を遣う。新しくてもジーンズ
は労働着である。また女性は暑いからと
いってスリープレスやサンドレスで訪問
はしない。いくら流行のファッションと
いっても不適当だろう。
訪問先での履物は、旅館や料亭の様に
下足の人がいる場合は、履物を脱いだま
ま上がってもよいけれど、通常は自分で
履物を揃え向きを変え、端によせる。手
土産を持参する場合は、泥付き野菜、生
魚、生花、肉、植木などは勝手口に戻り
渡す。しかし、いまだきの住宅事情で、
マンション等では玄関先で渡すよい。
預かり物は即刻、玄関先で渡す。その他
の物は、部屋で挨拶を済ませた直後に渡
すのが良い。
時代が変わり、人々の価値観が多様化
しても、これらのことは社会生活の中で
訪問する人の知らねばならない常識では
ないかと思う。

表紙の人
宮澤友子さん(柴崎町)

諏訪神社のすぐそばにお住まい。
いつも素敵なお着物や、あるいは普
段着の作業衣でいらっしゃる姿に、
ああ日本っていいなと思ってしまう。
というわけで、撮影もお着物で。銀
杏の葉がしきりと舞う晩秋の風景が
一段と華やかになった。もうひとつ
の顔は、熱心な映画ファン。ただ
観て楽しむだけでなく、戦前から続
く映画研究会で作品の背景を深め、
批評をたたかかせてきた筋金入り。
このところは研究会にもあまり足を
運んでいませんし……と謙遜なさる
が、映画を語り始めれば、熱い。

都農林総合研究センター
(農業試験場)で 写真：細江英公

かたこと

「猛暑日」という新しい言葉がたちまち
定着した今年の夏でしたが、樹々の葉が色
づき、温かいものが恋しい頃になると、あ
の暑ささえ懐かしくなります▼えくてびあ
んの表紙も秋色。黄金色に輝く銀杏の葉の
11月号です▼季節ごとに芽生え、花を咲か
せ、実を着け、枯れて、また芽生える。草や
木の営みは今も昔も人を感嘆させます▼対
談は、花と緑についての豊富な知識を自然
とのつき合い方に活かす「緑文化士」の白
井治子さん▼名も知らぬ野の花もゆかしい
ものですが、名前を知り文学や伝承など人
との関わりがわかるとずっと親しくなります。
おいしく食べられたり果実酒になると聞け
ばなおさら……▼VIEWでご紹介している
焼きたてパンのカフェ「BAKUBAKU」も、
福祉作業所の利用者の方たちが楽しく作
り、食べる方もおいしくて、幸せな気分▼
心を込めて作ったものが人の心まで温かに
してくれる。食べものにはそういう素晴らしい
力があります▼えくてびあんのような印刷
物は食べられるわけではありませんし、
焚いて暖まるにもそうそう役にたちそうも
ありません。でも読んだ後、少し心が温か
く感じていただけたらいいなと願います。
深まる秋、どうぞお味わいください。(芳)

スタッフ
編集 大久保清志/清水恵美子/中薫子
デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)
AMNET design factory
写真 五来孝平

えくてびあん (C) 11月号
第26巻 通巻276号
平成19年11月1日発行
発行 えくてびあん編集工房
〒190-0012
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
編集人 芳賀敬博
発行人 加賀悦也
印刷 (株)大廣社
無断転載を禁じます。

ともやすのバラ

part1

バラの花言葉。黄色なら「嫉妬」、白なら「尊敬」。熱烈な恋心も秘めた想いも、バラは相手に伝えてくれる。だれか教えて、花言葉。私はこのバラ、金のバラ。



輝きのメルヘン

ともやす
ジュエリーコレクションから

4

花

写真：五来孝平

ともやすのバラ

part2

すべての飾りを排除して、私は素で勝負する。ダイヤもルビーもサファイアも、パールの一粒も必要ない。なぜなら、私は大輪のバラ。

